

大学院は博士前期・後期課程で組織され、本学日本画研究の3つの柱である日本画表現研究・素材研究・古典研究をより専門的に据え、次代の日本画の創造を目指します。また、各自が論理的、客観的に自身の制作を捉えて研究計画を立て、修了制作にその成果を結実させます。



大学院アトリエ風景



黄靖茹 「稲荷神」 227.3×242.5cm 女子美術大学美術館展覧会



董玉嬌 「駅」 P150 大久保婦久子賞

作家として活躍する卒業生

Graduates Working as Artists



藤原 宇希子

現在創画会会友
女子美術大学日本画研究室助手

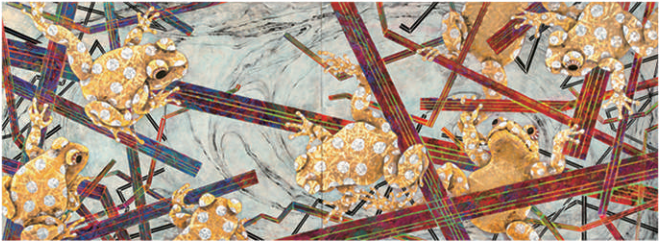
1990 千葉県生まれ
2016 第2回石本正日本画大賞展 大賞・作品収載(石正美術館/鳥獣)
2017 女子美術大学大学院 博士後期課程日本画研究分野 満期退学
行動展(国立新美術館)/ 行動美術TOKYO展(東京都美術館) 奨励賞
第6回 座の会展 以降毎年(O美術館/大崎)
2018 第44回東京春季画展(池袋西武)・第45回画展(東京都美術館)
画展(Gallery風/銀座)
2020 画展(伊勢丹新宿店/新宿・八大堂ギャラリー/世田谷)
2021 画展(Gallery Field/江戸川橋・伊勢丹新宿店/新宿)
2022 画展(HASHIVA Art Gallery/赤坂)
2023 第10回板花賞展 入選・作品収載(晴さくら美術館/目黒)
その他個展・グループ展・アートフェア等多数

● 女子美日本画で学んだことが、現在の作品制作にどのように役立っていますか。

女子美には日本画の素材について詳しく学べる環境があり、中でも自分のオリジナル岩絵具を使った経験は作品に直結しています。一般的には高価な岩絵具を大量に作れるからこそ失敗を恐れず様々な技法を実験・研究できました。また、古典模写では伝統的な技法の習得、そして細部を丁寧に仕上げつつ全体を見て整えていく事で作品の完成度を高める力を培いました。絵巻の表の場面を模写した際、描かれた当時は絵具の種類がとても少ないにも関わらず、わずかな色幅が多様な事に驚き、赤の魅力にハマりました。現在も赤い絵具の使い方にはこだわっています。

● 制作するうえで大切にしていることは何ですか。(作品に対する想いなど)

1つ目は、鑑賞者の気持ちを想像する事です。主役や表現したいイメージを自分の中で明確にして少しでもそれが伝わることを目指しつつ、例え伝わらずとも楽しく鑑賞できて記憶に残る作品になるよう心がけています。
2つ目は人の作品から素敵な所を見つけ、取り入れる事です。日本画に限らず様々な芸術に触れる事で、普段の自分からは産み出せない新たな技術や発想を得る事ができます。



修了制作 「乱」 162×442cm 2017年

● 藤原さんは現在、多数の展示に出品し、積極的に活動を続けていらっしゃいますが、いつ頃から学外での展示活動を始めるようになったのでしょうか。きっかけを教えてください。

学部時代から個展や同級生との展示を行っていました。特に現在に繋がっていると感じるのは大学院時代に女子美の先生や助手さん、先輩からの誘いで展覧会に出品した事です。優秀なタイプではない私に声をかけて下さった事が本当に有り難く、女子美の繋がりの暖かさを実感しました。そして先輩作家の皆さんが絶えず新しい表現に挑戦する姿に触れ、自分もこんな風に生涯絵を続けたいと思いました。

● 女子美入學を志す皆さんへ一言お願いします。

人生の中のたった数年間、自分を見つめ、表現していくことに最も集中できる時間だと思います。より豊かで楽しい時間にするために、今のうちから美しい、おもしろい、素敵!と思えるものに沢山出会ってください。ネット上の画像だけではなく、直接見て触れることが大事です!



近年の作品 「pomp」 F10号 2022年



個展の様子 伊勢丹新宿店 2021年

作家として活躍する卒業生

Graduates Working as Artists



江原 梨沙子

1994 東京都生まれ
2013 女子美術大学付属高等学校 卒業
2014 第26回三菱アートプログラム入選(以降29回、45回)
2017 女子美術大学芸術学部日本画専攻 卒業
神山財団芸術支援プログラム第4期生
パリ国立高等美術学校 交換留学
2020 東京藝術大学大学院油画専攻修了 修了
2021 MONTBLANC × The Chain Museum Vol.4 「孤帆の遺影」
令和二年度ポーラ美術館財団若手芸術家海外派遣(フランス)
2022 女子美ミラノ賞

● 江原さんは作家活動において様々な表現技法を用いていますが、そんな江原さんの感じている日本画の魅力とは何ですか。

日本画の魅力は勿論天然素材の美しさもそのひとつだと思いますが、私は日本人らしいモノの捉え方、線、構図や考え方にあると思います。歴史を振り返っても、日本のみに留まらず多くの海外の作家達が日本画に魅せられ、後にジャポニズムと言われる日本らしい表現方法に影響を受け、歴史が作られています。私自身海外研修を経て、海外で発表する際に多種多様な作家がいる中で日本人というアイデンティティが強みになると感じています。日本画こそグローバルな絵画技法だと考えます。

● 女子美日本画の特色はどういった点だと思いますか。(女子美を志す皆さんに向けて内容をお願いします)

女子美の日本画専攻は日本画で扱う素材や技術を丁寧に学ぶことができます。私達が普段使う筆、和紙、パネル、絵具など、道具を全て一から作る方法を学び、道具の

「祖師西來意」 The meaning of buddha coming from the west」
2017 227.5×182.0cm
和紙、岩絵具、金、クレヨン、新聞

大切さを学べたことは作家として活動する上で重要なことだと思います。また、古典模写の授業にも特化していると感じます。“温故知新”という諺があるように古典模写を通して学べたことは多く、描くことに集中して日本画と向き合えた時間も現在の糧となっています。

● 作家としての今後の展望を聞かせてください。

今後は日本と欧州の2つの拠点で活動します。日本だけでなく海外でも活動し、美術に恵まれた環境に身を置き制作、勉強に励むことで、より多角的な視点で物事を捉えられる柔軟な作家を目指していきたいです。また今後国際的に活動していく上で日本画を再思考再解釈し、壁面技法と組み合わせた前例のない制作にも挑戦したいと考えています。

「DNA Identification」
2021 116.7×116.7 cm
パネルにアクリル、スプレー、アクリル

デザイナーとして活躍する卒業生

Graduates Working as Designers



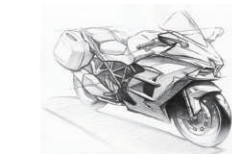
佐竹 真理佳

1993 新潟県長岡市生まれ
2018 女子美術大学卒業
2018 株式会社ケイテック入社 デザイン部門にてスタイリング業務に従事
2022 カワサキモーターズ株式会社 デザイン部門へ出向、スタイリング業務に従事

スタイリングデザイナーとして、Kawasakiから発売されるバイクやジェットスキーなどのモビリティの形を決める仕事をしています。アナログ・デジタル問わずアイデアスケッチを行い、そこから立体的なデータや原寸大模型を作成します。
工業製品は、安定した品質をお客様に届けるため、製造条件や操作上の安全面、耐久性などを加味して形を考えます。その上でデザイナーの意思をどれだけ形に残していけるかが、工業デザイナーの醍醐味だと思います。



【左】これは私が入社して初めて全体のデザインを考えたモデルのATV500-90です。主にアメリカを市場としており、オフロードを楽しむために設計されたキックス向けに1ギアです。



業務ではアナログスケッチも沢山描きます。こういったところで日本画で培ったデッサン力などが活かされていると感じます。



【右】乗地のターゲットユーザーの意向を踏まえ、アグレッシブで乗りつづける快感やデザインをデザインに反映させました。パーツ構成を検討し、それに合わせたデザインを考えていく工程では3Dソフトを活用しています。量産するにあたり、より明確なデザインを維持する際は当初の軸からブレないように意識をし、機材の性能から見たデザインを大幅にブラッシュアップする事ができました。

● 日本画に在籍しながら、現在の職業に就くために、どのような取り組みをおこなっていましたか。

2年生の冬、3年生向けの二輪メーカーの見学に参加しました。その頃はまだバイクのスケッチも少なかったのですが、当時お世話になっていたバイク屋さんで描かせてもらった少量のスケッチと、普段の日本画制作を併せてポートフォリオを提出したところ、日本画って珍しいねと覚えてもらいました。インターンでは、デザイン科の人たちのプレゼンを見ながら、自分の課題感を探しました。また、私が初めて乗ったバイクをデザインした人にも出会うことが叶い、それからスケッチを見ていただくなど、色々と面倒を見ていただきました。大学ではポートフォリオのことをデザイン科の教授に教わるなど、様々な出逢いに恵まれたと感じています。

● これから日本画を学ぶ若い人たちにメッセージをお願いします。

日本画ではほとんど基礎を学びます。正確なデッサンや素材の描き分け、素材の知識や構図等の基礎力は、どこ行っても通用する大きな武器になると思います。また、女子美の日本画は、自由にさまざまなことを学べる環境だと思います。日本画専攻だった私が、他専攻の先生の授業も見学させてもらって、こうしてデザイナーとして働いているのは、そんな先生方の温かさがあったからです。学生の学ぶ意思を応援してくれるような環境は、自分の「好き」を見つけやすいと思います。これから入学を志す皆さんには、女子美のあたたかい環境で、これからも自分の好きをたくさん見つけてほしいです。

協力:カワサキモーターズ株式会社様

当社は「Let the Good Times Roll=カワサキに関わる人すべての、よろこびと幸せのために」をミッションとして、それがすべてのステークホルダーへの貢献と定義しています。私たち従業員も、Good Timesが当社ミッションの一大大事だと考え、「仕事も楽しみたい、いい会社で働きたい、Good Times Companyにならな」という決意を社会に宣言して、いつもワクワクする商品をお客様にお届けしていきます。

・主な進路先名 2013年度～2022年度

(有)ACCENT / (有)石垣プロダクション / (株)イマジカ / (株)ウエマツ / 神奈川県教育委員会 / (有)カイカイキキ / (株)草薙 / (株)クリーチャーズ / グリー(株) / (株)ケイ・ウノ / (株)ケイテック(川崎重工グループ) / (株)コナミミュージメント / (株)コックスウェーブル / (株)コボラ / さいたま市教育委員会 / さらば(有) / (株)サダマツ / (株)白組 / 女子美術大学大学院 / (株)スタジオブリ / (株)世界堂 / (株)高島屋 / 高津美術美術(株) / (株)タケヤ / 千葉県教育委員会 / デンソーテクノ(株) / (株)東映アニメーション / 東京藝術大学大学院 / 栃木県教育委員会 / (有)中村プロダクション / (株)バンク・オブ・イノベーション / (株)プリンセストラヤ / (株)墨仁堂 / (株)MAPPA / (株)メンバーズ / (株)ユザワヤ商事 / ユフォーテーブル(有) / (株)Cygames pictures / 1-upスタジオ(株) 【50音順】